

**令和5年度広島県デジタルトランスフォーメーション実践支援業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和5年5月11日 9時30分から14時30分まで
2	場 所	広島県庁本館3階302会議室 ※提案者はZoomにより出席
3	出席委員	総務局 DX推進担当部長 総務局 研究開発担当部長（兼）研究開発課長 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長（中小・ベンチャー企業支援担当）（代理：イノベーション推進チーム参事） 商工労働局 イノベーション推進チーム担当課長（地域産業デジタル化推進担当） ※地域政策局 中山間地域振興課長は欠席
4	議 題	令和5年度広島県デジタルトランスフォーメーション実践支援業務公募型プロポーザルに係る第2次審査（プレゼンテーション審査）について
5	担当部署	総務局 DX推進チーム
6	開催方法	参集（オンライン併用）
7	議事内容	<p>選定委員会において、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション審査を行い、第1次審査及び第2次審査の結果、最も得点が上位の提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>B社：パーソルプロセス&テクノロジー株式会社 E社：NTTビジネスソリューションズ株式会社広島ビジネス営業部 F社：みらいグループ企業体（代表企業：みらい株式会社、構成企業：株式会社 Rejoui、株式会社リ・パブリック）</p> <p>各選定委員の主な評価・選定理由については、次のとおりである。</p> <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体設計としては、しっかりと練られたコンセプトが各業務に通貫され、プロジェクト責任者の熱量も高いが、実働フェーズ（特に実践道場）において、参加者の多様性に対応できる専門家やスタッフが十分に確保されているかやや不安。 <p>【E社】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前ヒアリング時の選定基準が少し厳しいと考える。一方で、入口段階で事業者の本気度・やる気などを選別していく手法は、当該事業

		<p>のミッションとして多数の成功事例を創出し、横展開していくという観点からは、一つの重要な要素であるとも思料する。</p> <ul style="list-style-type: none">ローカルで類似実績があり、経験値を上げたスタッフやパートナーとの連携が強みと伺える。各業務の企画設計とログが詳細に準備されているので、安定した事業運営が期待できる。一方で機運醸成や横展開を図る集客及び拡散に向けた広報戦略の提案が欲しい。 <p>【F社】</p> <ul style="list-style-type: none">本事業の取組の趣旨をよく理解した提案となっている。特に、マインドセットを考慮した経営者セミナーや DX 実践道場などの各事業での工夫が見られるものの、短期間で小規模事業者等のマインドセットを図る工夫などについては評価しにくい点がある。「共助」の仕組みを主要コンセプトに取り入れる等、少し取組内容のレベルが高い気がするが、豊富な専門家を擁し、得意分野や実績を有する各社の連携により、参加企業の目線に立ったオーダーメイド型の支援が可能と考える。DX分野でのこれまでの実績を踏まえて、それぞれの業務に一定の工夫が見られ、他社提案よりも優位性があると考ええる。コンセプトを共感する3社コンソーシアム体制により、事業推進に対する十分なコミットが期待できる。ただ、コミュニティ形成に重点がおかれ、DX実現のKPI達成にやや不安がある。
--	--	--